



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社 御園座 上場取引所 名
 コード番号 9664 URL http://www.misonoza.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮崎敏明
 問合せ先責任者 (役職名)取締役財務経理部長 (氏名)増井敏樹 (TEL) (052) 222-8202
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	3	-	△31	-	△32	-	△33	-
29年3月期第1四半期	0	△99.9	△33	-	△32	-	△33	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△0.67	-
29年3月期第1四半期	△0.67	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,900	4,555	93.0
29年3月期	4,642	4,287	92.4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 4,555百万円 29年3月期 4,287百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	-	-	0	0
30年3月期	-	-	-	-	-
30年3月期(予想)	-	-	-	0	0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	437	△15.1	△286	-	△227	-	△228	-	△4.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	49,845,000株	29年3月期	49,243,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	46,864株	29年3月期	46,064株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	49,347,036株	29年3月期1Q	49,198,439株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に雇用の改善が見られるなど、全体としては緩やかな回復基調となりました。しかしながら、個人消費は将来不安に対する節約志向の定着や所得の伸び悩みによって低調な推移が続く状況となっております。

レジャー業界においては旅行業界が徐々に回復が進んでおりますが、旅行業界と比較すると興行業界は未だ回復が進んでおらず依然厳しい状況となっております。

そのような中、当社は平成29年10月には恒例となりました「錦秋名古屋顔見世公演」を予定しております。第1四半期についてはその営業活動を行っており、今後も各種営業活動の他にキャンペーン活動を行う予定であり、また、新劇場開場に向けて平成30年度の演目の決定・公表及び広告宣伝活動を始めさまざまな準備を進めております。

また、中日劇場への送客を行い、販売手数料をいただいております。

当第1四半期累計期間の業績は、売上高3百万円（前年同期は0百万円）となりました。利益面では、営業損失3千1百万円（前年同期は営業損失3千3百万円）、経常損失3千2百万円（前年同期は経常損失3千2百万円）、四半期純損失3千3百万円（前年同期は四半期純損失3千3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、28億3千3百万円となり、前事業年度末に比べ2億5千2百万円の増加となりました。この主な要因は、現金及び預金が2億5千万円増加したものであります。固定資産の残高は、20億6千7百万円となり、前事業年度末に比べ5百万円の増加となりました。この主な要因は、無形固定資産が3百万円増加したものであるものであります。この結果、総資産は、49億円となり、前事業年度末に比べ2億5千7百万円の増加となりました。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、4千5百万円となり、前事業年度末に比べ1千万円の減少となりました。この主な要因は、未払法人税等が5百万円減少したことによるものであります。固定負債の残高は、2億9千9百万円となり、前事業年度末に比べ0百万円増加しました。この結果、負債合計は、3億4千4百万円となり、前事業年度末に比べ1千万円の減少となりました。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、45億5千5百万円となり、前事業年度末に比べ2億6千8百万円の増加となりました。この主な要因は、第三者割当増資により資本金及び資本剰余金が各々1億5千万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,556,359	2,807,073
受取手形及び売掛金	3,643	4,248
貯蔵品	620	742
その他	21,358	22,348
貸倒引当金	△1,477	△1,097
流動資産合計	2,580,505	2,833,316
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	309	290
土地	2,010,112	2,010,112
有形固定資産合計	2,010,421	2,010,402
無形固定資産	83	3,861
投資その他の資産		
投資有価証券	42,068	43,181
その他	9,520	9,680
投資その他の資産合計	51,589	52,861
固定資産合計	2,062,094	2,067,125
資産合計	4,642,600	4,900,442
負債の部		
流動負債		
買掛金	27	506
未払法人税等	9,619	4,513
前受金	17,460	17,765
預り金	2,373	2,501
その他	26,604	20,128
流動負債合計	56,084	45,415
固定負債		
繰延税金負債	275,821	275,849
退職給付引当金	23,211	23,289
固定負債合計	299,032	299,139
負債合計	355,116	344,554

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,121,437	2,271,937
資本剰余金	1,987,121	2,137,621
利益剰余金	205,119	171,951
自己株式	△36,444	△36,957
株主資本合計	4,277,234	4,544,553
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,248	11,333
評価・換算差額等合計	10,248	11,333
純資産合計	4,287,483	4,555,887
負債純資産合計	4,642,600	4,900,442

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	139	3,057
売上原価	4,202	5,156
売上総損失(△)	△4,062	△2,098
販売費及び一般管理費	29,601	29,606
営業損失(△)	△33,664	△31,705
営業外収益		
受取利息	220	58
受取配当金	1,105	1,105
その他	91	60
営業外収益合計	1,417	1,224
営業外費用		
支払利息	3	-
株式交付費	-	2,379
その他	0	68
営業外費用合計	4	2,447
経常損失(△)	△32,250	△32,928
特別損失		
投資有価証券評価損	48	-
特別損失合計	48	-
税引前四半期純損失(△)	△32,299	△32,928
法人税、住民税及び事業税	877	239
法人税等合計	877	239
四半期純損失(△)	△33,176	△33,167

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月20日付で、株式会社宮崎など法人8社、個人13名から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期累計期間において資本金が150百万円、資本準備金が150百万円増加し、当第1四半期会計期間末において資本金が2,271百万円、資本準備金が2,137百万円となっております。